

# 船橋市交通ビッグデータ見える化協議会

## 第2回会議

### 「これまでの検討結果とりまとめ」

令和3年（2021年）6月

船橋市

# 1. 従前の検討方法

- 市道には国県道で整備されているような統計調査・データが存在しないため、市内全域での網羅的な分析は困難であった。
- そのため、従前は個別箇所を対象に自主的な交通実態調査（交通量や渋滞長調査など）をしているが、予算制約も大きい。
- 一方で、交通系ビッグデータが普及してきたが、市道を対象に利用するには様々なハードルがある。
- 上記背景から、これまでは地域や関係機関からの要望、市職員の現地確認などの経験に基づく、主観的な分析が中心であった。

○：頻繁に使われている統計調査・データ、△：多少は使われている統計調査・データ

No	分類	現状分析に必要な主な客観データ	主な統計調査・データ	
			国県道	市道
1	道路整備計画	交通量	○平成27年度全国道路・街路交通情勢調査 △一般道路の「断面交通量情報」(JARTIC)	△一般道路の「断面交通量情報」(JARTIC) ※データ取得箇所は少ない
		OD	○平成27年度全国道路・街路交通情勢調査 △第6回東京都市圏パーソントリップ調査	○第6回東京都市圏パーソントリップ調査
2	交通円滑化	旅行速度	○平成27年度全国道路・街路交通情勢調査 ○ETC2.0プローブデータ	— (※自主的な調査)
		滞留長・渋滞長	— (※自主的な調査)	— (※自主的な調査)
3	交通安全	死傷事故	○交通事故・道路統合データ (ITARDA) △交通事故統計情報のオープンデータ (警察庁：R1年より)	△交通事故・生活道路統合データ (ITARDA) ※道路への紐付け処理未対応。国道事務所での利用が多く、自治体の直接利用は少ない。 △交通事故統計情報のオープンデータ (警察庁：R1年より)
		急挙動	○ETC2.0プローブデータ	—

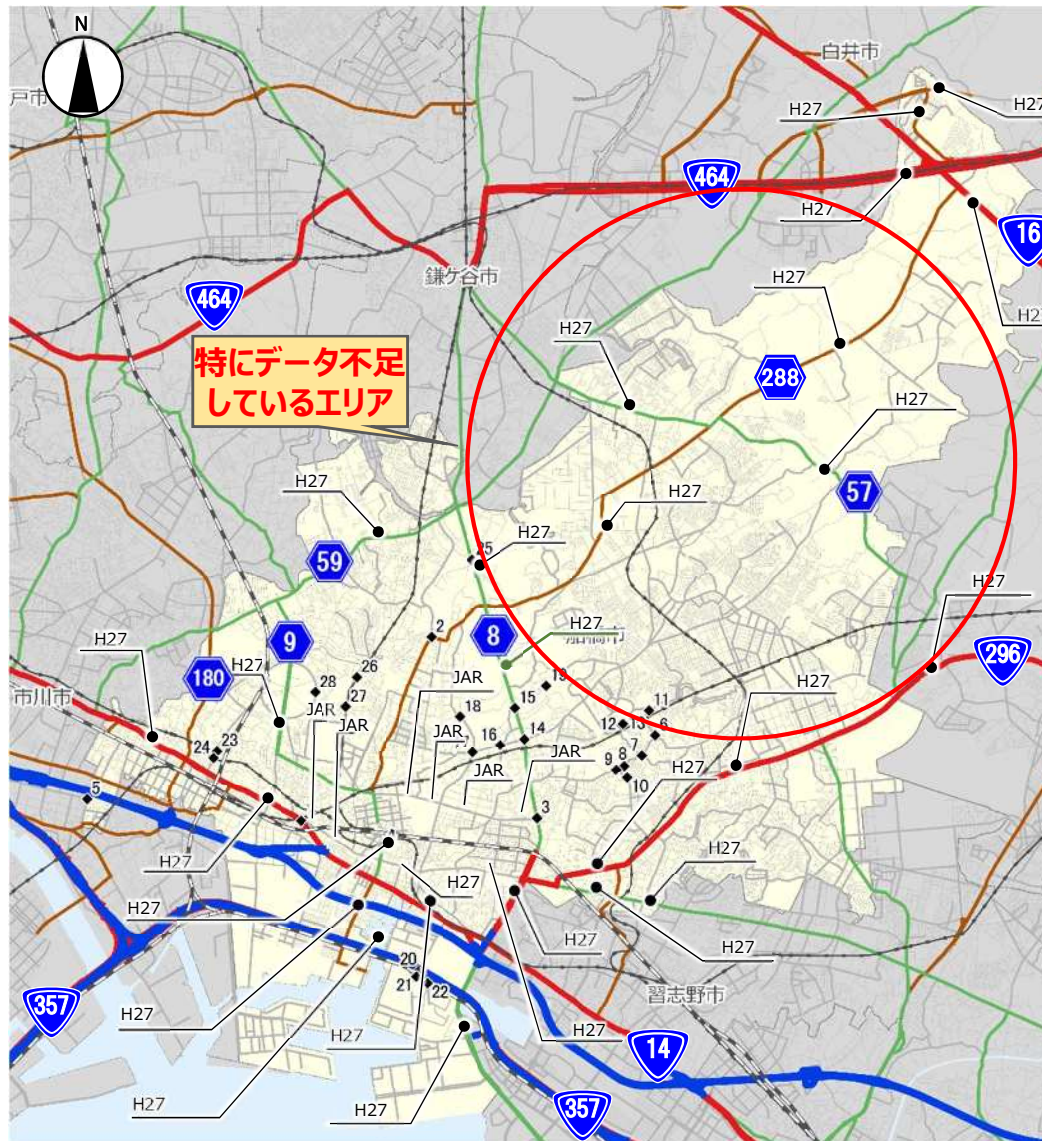
※1) ETC2.0プローブデータは市町村道での利活用可能であるが、国保有データのため、ここでは市道に含めていない。

※2) 民間が整備・販売しているビッグデータも存在するが、ここには含めていない。

# 1. 従前の検討方法：交通量の観測状況

- 国県道の交通量は「平成27年度全国道路・街路交通情勢調査（一般交通量調査）」、市道はJARTIC提供の「断面交通量情報」及び交通量調査箇所（自主調査）の実績は下記の通りであり、特に空白エリアでの市道でデータが不足している。

【交通量等観測地点】



- ⊙ JCT
- IC・SIC
- 高速道路
- 一般国道
- 主要地方道
- 一般県道
- その他市道
- 鉄道 (JR)
- 鉄道 (JR以外)

- H27 平成27年度全国道路・街路交通情勢調査
- JAR 断面交通量情報
- ◆No. 交通量調査箇所

No	調査地点
1	海神6丁目26-23
2	金杉3丁目4-6
3	駿河台1丁目5-10
4	本町1丁目6-1
5	小栗原架道橋南側
6	飯山満地区1
7	飯山満地区2
8	飯山満地区3
9	飯山満地区4
10	飯山満地区5
11	飯山満地区6
12	飯山満地区7
13	飯山満地区8
14	(仮)高根町交差点
15	芝山団地入口交差点
16	(仮)米ヶ崎交差点
17	(仮)八栄橋東詰交差点
18	(仮)夏見町交差点
19	船橋市高根町603
20	浜町2丁目交差点
21	イクア前交差点 (仮称)
22	南船橋駅入口交差点 (仮称)
23	葛飾小学校入口
24	踏切部
25	市営霊園入口
26	塚田南小周辺 地点1
27	塚田南小周辺 地点2
28	塚田南小周辺 地点3